

★ 提案40に賛成の議論 ★

超富裕層に課税するため、提案40に賛成を

Trumpの「大きくて醜い法案」は、超富裕層への減税の財源を賄うために医療資金を大幅に削減し、100万人を超えるCalifornia州民から保険適用を奪い、さらに数百万人の健康保険料を倍増させました。超富裕層によりやく公平な負担分を支払わせ、中間層に負担を押し付けるのをやめさせるため、提案40に賛成の投票をしてください。

超富裕層への減税ではなく、医療に資金を

提案40は、Californiaの超富裕層約200人に対し、その世界規模の資産に対して控えめな一時金を課すことで、地元の病院や救急外来の運営を維持し、何百万人もCalifornia州民が手頃な価格で医療を受けられるようにするものです。

これにより約1000億ドルの資金が得られ、Trumpとその超富裕層の献金者たちが自分たちの懐を肥やすために労働者から奪った財源を補填することになります。この資金は、高齢者、退役軍人、そして家庭のための命を救う医療に充てられます。これにより、何百万人もCalifornia州民が健康保険を維持でき、保険料の急騰を防ぐことができます。これにより、公立学校での大規模な教員解雇を防ぎ、食糧支援プログラムを通じて子供たちに食事を提供し続けることができます。

超富裕層は、公平な税負担をすべきである

皆さんは給料から毎回税金を納めていますが、超富裕層は働く一般家庭よりものはるかに低い税率しか払っていません。彼らは、ますます大きな税制優遇措置を受けているにもかかわらず、より少ない税負担で済ませようとしています。

提案40は、資産が10億ドルを超えるCalifornia州民のみが支払う一時的な税を制定するものです。これは、合わせて2兆ドルもの資産を保有する少数のグループです—その資産の大部分は、超富裕層に有利な抜け穴のため、課税されることは決してありません。

超富裕層は、中間層を犠牲にして極端な富を築いてきました。今こそ、彼らに公正な税負担をさせることで、私たち自身が医療費の負担増を強いられずに済むようにするチャンスです。

Bernie Sandersが提案40を支持

連邦上院議員のBernie Sandersは、たとえSacramentoの一部の政治家が労働者よりも超富裕層を守ろうとしていても、提案40への賛成投票を強く支持しています。

「[超富裕層が]子どもが死んでも構わない、人々が必要な医療を受けられなくても構わない、Californiaの人々を罰してやろうなどと言っているという事実そのものが一言道断だ。」

—連邦上院議員 Bernie Sanders

超富裕層の嘘に騙されないでください。

道徳的に破綻した少数の超富裕層が、自分たちの減税分のツケを労働者に払わせたいがために、提案40について嘘を広めています。

Google創業者でありTrumpへの献金者でもあるSergey Brinの資産は、Trumpの当選以来ほぼ2倍に増え、3000億ドル近くに達しています。現在、彼は提案40に反対するために5700万ドル以上を費やしています。彼は、自分が公平な税金を納めるくらいなら、何百万人もCalifornia州民が医療保険を失うことをむしろ望んでいるのです。

Brinのような超富裕層は、一部の腐敗した政治家や組織の指導者を買収し、彼らにも提案40に反対させています—しかし実際の教員、ブランド・ペアレントフッドの職員、看護師、そして組合員たちはこれを支持しています。提案40に反対する人々は、Trumpが私たちから奪った財源を補う実行可能な代替案を何一つ示していません。

もちろん、こうした超富裕層やその手先たちは超富裕層税を望んでいません。しかし、皆さんは望むべきです—誰かが負担しなければならないものですし、労働者はすでに医療費として十分に負担しているのですから。

命を救おう。超富裕層に課税を。

Suzanne Jimenez, 首席補佐官

SEIU-United Healthcare Workers West (SEIU西部医療従事者組合)

Victoria Barron, 患者受付専門職

ブランド・ペアレントフッド Pacific Southwest

Denise Robb, Ph.D., アメリカ教員組合 第1521支部 会員

Los Angeles単科大学教員組合

★ 提案40の賛成意見に対する反論 ★

Californiaの教育、医療、公共安全、労働、ビジネス各分野のリーダーは皆、提案40の欠陥だらけの増税案に反対

提案40は欠陥だらけの増税案であり、州に損害を与える一方で、その代償を払うのは納税者です。

Californiaの教師、医師、診療所、病院、消防士、納税者、ブルーカラー労働組合、企業、民主党員、共和党員からなる幅広い連合が、提案40に反対している理由は以下の通りです。

- 提案40は財源不足を埋めることはありません—それどころか、学校、医療、公共安全のための歳入250億ドルの損失をCaliforniaにもたらすことになります。
- 提案40は医療を改善したり消費者の負担を軽減したりするものではありません—これは議会が健康保険会社に数十億を支給することを容認する白紙委任状に過ぎず、経済的に苦しい家庭が、高額な医療費の負担を軽減するために1セントたりとも支援を受けられるという保証はありません。
- 提案40は学校の助けにはなりません。Californiaの有権者が承認した学校財源保護の対象外となるよう自らを免除しているからです。その結果、公立学校は年間30億ドルの資金不足に陥ります。
- 提案40は、Californiaの格差を解決しません。それは、Californiaの経済、雇用、税収を支える企業や成功を収めた住民を追い出すだけであり、その結果、他の納税者にその穴埋めを強いることになります。

それだけではありません。フランスの経済学者たちと、提案40を支持する唯一の団体は、この欠陥のある一時的な税による資金がいずれ尽きることを知っていたため、州議会が住民投票を経ずにこの税を拡大できるようにする抜け穴を設けました。

提案40には説明責任も監督機能もなく、資金が意図した通りに使われることを保証する仕組みもありません。

Californiaに必要なのは、学校、医療、公共安全の財源となる安定的で説明責任のある歳入であり、提案40ではありません。

事実を正しく理解し、提案40には反対票を投じましょう。

April O'Connor, 教師

California教員協会

Rob Gutierrez, 会長

California州納税者協会 (CalTax)

Chris Hannan, 会長

California州建築・建設業協議会

★ 提案40に反対の議論 ★

40に反対一欠陥だらけの富裕税「実験」がすべてのCalifornia州民を苦しめる
提案40は設計の甘い増税案であり、経済に打撃を与え、州予算に数十億ドルの損失をもたらす一方で、California州民の医療費を下げることは何ら寄与しません。

この措置は、一時的な資金調達のみを目的とした一回限りの課税措置です。資金が尽きれば、政治家たちはまた別の増税を持ち出してくるでしょう。

提案40は、医療・教育のための歳入250億ドルの損失をCaliforniaにもたらします。

スタンフォード大学の経済学者による調査では、この増税によって企業や富裕層の住民が州外に流出し、Californiaに250億ドルの損失をもたらすことが明らかになりました。

これらの住民は新たな事業を創出し、地域の経済成長を牽引しており、すでに州の事業を支える所得税のほぼ半分以上を負担しています。彼らが去ってしまえば、予算に大きな穴が開き、教育、医療、公共の安全といった中核的なサービスが脅かされたり、その差額を埋める負担が他の納税者に強いられることになります。

Californiaの医師、病院、診療所が提案40に反対しているのは、資金不足により患者の医療へのアクセスが脅かされることになるためです。

「提案40は、安定した医療財源の必要性に応えるものではありません。」
提案40はむしろ事態を悪化させます—Jodi Hicks、会長兼CEO、Planned Parenthood California支部連合会

提案40は、政治家に増税を拡大する新たな権限を与えるように作られている
提案40は単なる「富裕層税」ではありません。この措置の背後にいる特定の利益団体は、州議会がこの措置を修正できる権限を与えるように作成しました—有権者の承認を得ることなく。

独立した法的分析によると、提案40は、Californiaのすべての州民の資産—貯蓄、住宅資産、さらには退職金に至るまで—に課税を拡大する道を開くものであることが明らかになりました。www.ReadItForYourself.org

提案40は退職金口座に初めて課税します

提案40は、California史上初めて退職金口座に課税するものです—これは危険な前例です。もし可決されれば、必然的にその適用範囲が拡大され、より多くのCalifornia州民の退職貯蓄に課税されることになります。

提案40は、さらなる無駄な支出を招きます。

州政府の支出は2019年以降79%増加していますが、犯罪、住宅、ホームレス問題といった重要課題において、成果は向上していません。しかし、提案40には、

資金が本来の目的通りに使われることを確保するための説明責任、透明性、あるいは監督に関する規定が一切含まれていないのです。

その代わりに、提案40は、

- 有権者が承認した学校のための憲法上の保護から自らを除外し、教室への財源を毎年30億ドル以上不足させます。www.ProtectCaliforniaSchools.org
- 有権者が承認した州の支出上限から自らを除外し、超過歳入を納税者に還元するという要件も対象外としています。
- 数十億ドルが直接、保険会社やCEOに渡ることを防ぐ安全策を一切設けていません。

起草者自身も、この一時的な税が実験的な措置であることを認めている

提案40を共同起草したフランス人経済学者たちは、フランスや欧州連合でも富裕税を提案しましたが、経済的懸念から否決されています。彼らは提案40を「実験」と呼び、失敗する可能性があるとしながらも、「Californiaはこのアイデアを試すのに理想的な場所だ」と述べています。

Californiaの未来を、莫大な費用がかかる経済実験に賭けるべきではありません。

www.WhoWroteProp40.org

提案40には労働界と経済界、民主党員と共和党員、教師と消防士が反対している

提案40は、Gavin Newsom知事、民主党および共和党の知事候補、そして以下の団体が反対しています。

California教員協会、Planned Parenthood California支部連合会、California小児病院協会、California州建築・建設業協議会、California大工組合協議、California州プロフェッショナル消防士協会、Californiaアジア太平洋商工会議所、California手頃な価格の住宅協議会、California納税者協会、California商工会議所、Californiaヒスパニック商工会議所連合

私たちに加わり、この欠陥だらけの増税案に反対票を投じましょう。

詳細はwww.VoteNoOn40.orgをご覧ください。

René Bravo, M.D.、会長

California州医師会

Francisco Silva、CEO

Californiaプライマリケア協会

Dr. Debra Schade、会長

California州学校理事会協会

40

★ 提案40への反対意見に対する反論 ★

事実を確認しましょう

1. 提案40は、超富裕層に対する税です。これは他の誰にも適用できません—労働者はすでに公正な負担以上の税を払っています。

2. 提案40は、Trumpが超富裕層への減税の財源とするために削減した医療財源を補うため、1000億ドルを生み出します。

3. 超富裕層は、労働者世帯が毎回の給料から支払っている税率よりもはるかに低い税率しか払っていません。

超富裕層の嘘に耳を貸してはいけません。

Trumpの「大きく美しい法案」の可決に協力した超富裕層は、あなたに超富裕層税への反対票を投じさせるため、数百万ドルを費やしています。

騙されないでください。超富裕層による支持表明や調査は真実を隠蔽するものです—彼らは、超富裕層を保護し、一般の納税者に不利益をもたらすTrumpの政策を推進しているのです。

実際の医師、看護師、教師、労働者たちは、提案40を支持しています。

一部の組織のリーダーやロビイストが超富裕層の側に立っている一方で、彼らが本来代表すべき労働者たちは提案40を支持し、皆さんに「賛成」に投票するよう呼びかけています。支持者には次のような人々がいます。

California看護師協会、Ro Khanna下院議員、研修医・レジデント委員会所属の医師たち、SEIU、Californiaラテン系米国民連盟(LULAC)、経済正義のための聖職者・信徒連合(CLUE)

提案40の反対派には、皆さんの医療を守る計画がありません。

超富裕層とその手先たちは、Trumpが私たちから奪った医療財源を補う実行可能な代替案を何一つ示していません。自らの公正な負担を払うよりも、むしろ中間層が病院閉鎖と急騰する医療費に苦しむ方を望んでいるのです。

提案40に賛成票を投じてください。

Suzanne Jimenez、首席補佐官

SEIU-United Healthcare Workers West (SEIU西部医療従事者組合)

Victoria Barron、患者受付専門職

ブランド・ペアレントフッド Pacific Southwest

Denise Robb, Ph.D.、アメリカ教員組合 第1521支部 会員

Los Angeles単科大学教員組合